

| 順位 | 氏名（議席）   | 発言の要旨  | 答弁者                     |
|----|----------|--|-------------------------|
| 20 | 笹川 朝子（3） | <p>1. 学校におけるいじめ問題について</p> <p>横浜市で悲しい事件が明らかになり、マスコミでも大きく取り上げられました。報道によりますと、この生徒は小学校2年生だった平成23年8月、原発事故で福島県から横浜市に自主避難し、横浜市立小学校に転校。その直後から、名前に菌をつけて呼ばれたり、蹴られたりするなどのいじめを受けました。また、5年生のときには、同級生に「（東電から原発事故の）賠償金があるだろう」と言われ、遊興費として総額150万円ほどを払わされました。「ただこわくてしょうがなかった」と証言しています。両親から相談を受けた警察が、聴取結果を伝えても学校は動かなかったと言います。父親は、何度相談しても一向に動かない学校に不信感を持ち、弁護士に相談しながら、学校側やいじめたとされる同級生の保護者らと話し合ったが改善せず、昨年12月に第三者委員会に調査を申し入れました。</p> <p>第三者委員会は、学校の対応について、一昨年に生徒側から相談を受けていたにもかかわらず、適切に対応しなかったことを「教育の放棄に等しい」と批判しました。市教育委員会に対しても重大事態と捉えず、調査の開始がおくれ、生徒側への適切な支援がおくれたと指摘しました。</p> <p>「いままでいろんなはなしをしてきたけどしんようしてくれなかった」、「（先生に）むしされてた」、「いままでなんかいも死のうとおもった。でも、しんさいでいっぱい死んだからつらいけどぼくはいきるときめた」。小学校6年生のときにこの手記を書き、代理人の弁護士を通じて一部が公表されました。</p> <p>先日会見した両親も、絶望のサインを受けとめなかった学校や市教育委員会に「何もしてくれなかった」、「八方ふさがりだった」と対応に不信感をあらわにしていました。11月2日、横浜市長は謝罪会見をして、「大変重く受けとめ、教育委員会にはきちんと対策を取るよう重ねて指示をする」と述べました。</p> <p>生徒は、心が折れそうなくらいつらかったと思います。いじめには、社会のあり方がかかわります。競争と管理の教育、弱者をいじめ、攻撃する社会や政治など。苦しむ福島の住民に「最後は金目でしょ」と言い放った元環境大臣のような人物もいました。子どもの世界は大人社会を映す鏡です。</p> <p>昨年5月には、岩手県矢巾町の中学校2年生の男子生徒が、いじめを苦に電車で飛び込んで自殺しました。生徒は何度も担任の先生にいじめの被害を訴えていたが、学校側が適切に対応してくれなかった。担任以外はトラブルを把握していなかったとのこと。</p> <p>いじめが原因での自殺が後を絶ちません。</p> <p>国立教育政策研究所は首都圏にある1つの市の全ての小学校（13校）と中学校（6校）に在籍する、小学校4年生から</p> | 市長<br>及び<br>教育長<br>担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席）   | 発言の要旨   | 答弁者                     |
|----|----------|---|-------------------------|
| 20 | 笹川 朝子（3） | <p>中学校3年生までの全児童生徒（1学年当たり800人）の変容を追跡調査して「いじめ追跡調査2007-2009いじめQ&amp;A」（2010年）にまとめました。いじめは年によって増減傾向はなく、どの年も似たような傾向率が示された。加害者や被害者は入れかわり、全体の8割を超える子どもが3年間のうち何らかの被害体験を、同じく全体の8割以上の子どもが加害体験を持つという。つまり一部の特定の子どもが被害者になる、加害者になるという想定は誤りである。そして、日本のいじめの多数は「仲間はずれ・無視・かげ口」、「からかう・悪口」であることも判明したと。</p> <p>国連の子どもの権利委員会は、子どもの権利条約実施に関する第3回日本政府報告に対し、過度の競争主義的な教育の問題を指摘し、いじめの問題の背景には教育政策など大きな問題がある。そして「大切にされていない」、「自分なんかどうでもよい」といった不全、自尊感情の低さなどもいじめの背後にあると指摘しています。また、人権に詳しい弁護士は、いじめは人権侵害そのものです。それを子どもたちがきちんと自分の認識の中に入れ込むには、子どもたち自身の人権が尊重されているという実感が不可欠です。自分の人権が尊重されているという実感がない人間には、他人の人権を尊重するという認識が生じるはずがない。上から規範意識を涵養したり、道徳教育することでいじめがなくなるということはおそらくないでしょう。と述べています。</p> <p>富士市でも、仲間外れやクラス内での無視、暴言などのいじめに悩み、本人と保護者が担任や学校、教育委員会に訴えてもまともな対応をとってもらえず、不登校になっている事例があります。不眠・拒食症で16キログラムも痩せて体力が落ちてしまった生徒もいます。母親からは、鬱状態になり「毎日、死ぬことを考えている」とアンケートに書いてあったと話してくれました。ほかにも暴言・暴力行為を担任に訴えても、真剣に受けとめてもらえず、学校中の教師たちに本人の思い込みと片づけられ、親子で苦悩の日々を過ごしている生徒もいます。</p> <p>いじめは見えていなくても必ず起きていると発想を転換することが大事だと言われます。冷やかしからいじめなど、ささいに見えがちなことでも、複数の相手から繰り返されれば自殺を考えるほど追い詰められることがあるとも言います。</p> <p>どの子ども、大事に育てられてきたかけがえのない子どもたちです。1人の人間として尊厳を大切にされ、教育を受ける権利があります。いじめ問題にどう取り組んでいくのか以下質問いたします。</p> <p>(1) 小中学校それぞれいじめ認知はどれくらいか。<br/> (2) 不登校の理由のうち、いじめは全体の何人か。そのいじめを保護者が学校、市教育委員会まで訴えているのは何人か。</p> | 市長<br>及び<br>教育長<br>担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席）   | 発言の要旨  | 答弁者                     |
|----|----------|--|-------------------------|
| 20 | 笹川 朝子（3） | <p>(3) いじめを受けている本人や保護者からの訴えにどのように対応しているか。</p> <p>(4) 「いじめを認めない」、「困っている本人の話を受けない」という教師に対する不信感が見られます。横浜市や岩手県矢巾町、兵庫県加古川市などの事件を受けて、富士市ではどのような対策を取られているのか。</p> <p>(5) 市内の保護者から、いじめ防止対策推進法の「重大事態」として第三者委員会の設置の申し出を受け、教育委員会は設置しました。構成委員と委任内容はどうなっているか。</p> <p>(6) いじめにより年間30日以上欠席が続き、「重大事態」が生じた場合、学校及び教育委員会は、初期段階としてどのような対応を行うのか。</p> <p>(7) いじめアンケート実施について、生徒が書きにくく、後々、個人情報等を盾に被害者の開示請求を拒否できるような記名式はやめるべきで、富士市でも無記名に統一できるのか。</p> <p>(8) 人権教育が大事と考えますが、考えをお聞かせください。</p> | 市長<br>及び<br>教育長<br>担当部長 |